

令和5年度収蔵資料展

テーマ 『冷害』

～30年前の大凶作と北上市～



北上市立中央図書館が開館した30年前。

全国を襲った大冷害を覚えているでしょうか。

コメ作況指数は戦後最悪。大凶作でコメの緊急輸入。

北上市でも多くの被害があり、特に稲作は甚大な被害を受けました。

稲作に焦点をあて、過去の冷害記録の資料と共に30年前の冷害を振り返ります。

2/1(木) - 2/25(日)

場 所 北上市立中央図書館

開館時間 9:00～19:00 ※土・日・祝は18:00まで

休館日 5日(月)、13日(火)、19日(月)

北上市を襲った大冷害

冷害とは？

夏季に日射量が少なかったり、寒冷的な天候が続いたりすることによって農作物が被害を受ける自然災害のこと。

冷害はなぜ起こった？

気温が低くなった要因

- ・オホーツク海高気圧の勢力が強く、寒気が南下しやすかった。
- ・エルニーニョ現象により、海面水温が低かった。
- ・太平洋高気圧の張り出しが弱く、梅雨前線が長く停滞した。

被害は？

- ・重さはあったが未成熟米が多く、15～30%しか採れなかった。
- ・コメの不作により「平成の米騒動」が起きた。

かけはし交流

岩手県では翌年の種もみの確保が困難となった。そのため、北上市出身で当時の岩手県農政部長（その後に岩手県副知事）であった故・高橋洋介氏などが中心となり、沖縄県石垣市で「種もみ緊急増殖事業」を実施し、多くの支援を受け、種子の確保に成功した。

これを契機に、両市で「かけはし交流」が始まり、平成26年に北上市と石垣市は友好都市となった。

今年度は友好都市締結10周年を迎えた。

現在でも農業分野だけでなくスポーツや教育関係など、幅広い分野で交流が続いている。